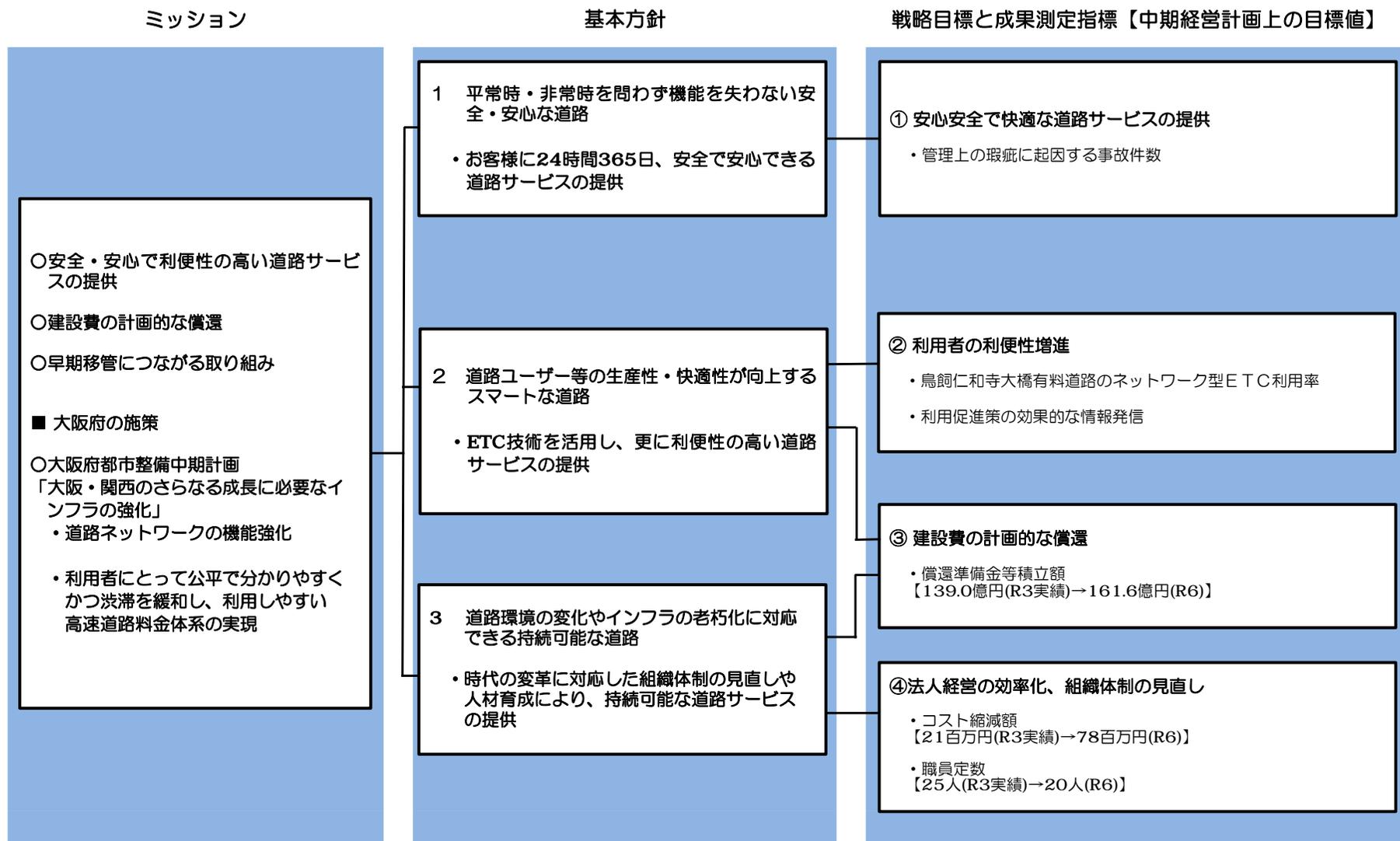


法人名	大阪府道路公社
作成（所管課）	道路室道路整備課

○ 経営目標設定の考え方



法人名	大阪府道路公社
-----	---------

○ 令和5年度の経営目標達成状況及び令和6年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R5 ウエイト	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値 〔見込値〕	R6 目標値	R6 ウエイト	中期経営計画 (R4～R6)		R6目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R6 目標値	最終年度 目標値	
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		億円	45	149.0	152.0	[156.5]	159.4	45	161.6	161.6	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR6年度の料金収入、維持管理費等の費用見通しに基づき算定
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、 経営上の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路公社は、道路管理者に代わって、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で建設費を償還し、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引継ぐことになる。 ○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。 										<p>中期経営計画(2022～2024)及び、お客様サービス向上戦略に基づき、以下の取組みを進めることにより、建設費の着実な償還を推進する。</p>	
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理路線を適正な状態に保ち、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供するためには、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)が必要となるが、無計画で場当たり的な維持管理では、多大な費用と時間が必要となる。 ○ 国の将来予測によると、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にあり、そういう状況の中で、管理路線を利用する交通量を確保し、安定的な収入の確保が必要となる。 										<p>①コスト削減の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○維持管理方法の工夫、管理水準の見直しを実施 <p>②利用促進の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥飼仁和寺大橋有料道路に導入したネットワーク型ETCの利用率向上を目指したキャンペーン実施 ○イベント等での利便性等のPR活動 ○観光協会等と連携した取り組み等をInstagram発信 ○商工会議所等と連携し、イベントの開催 ○YouTubeによる情報発信 ○会社のホームページやXでの情報発信 ○郵便局と連携したイベントの開催 	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ R4年3月に策定した「中期経営計画(2022～2024)」に基づくとともに、時代の変革や急激な社会情勢の変化にも柔軟に対応できるよう以下の取組みを行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1 コスト削減の取組み 効率的・効果的な維持管理を実施するとともに、これにかかる維持管理費等について引き続き削減に取り組む。 2 利用促進の取組み 商工会議所等とタイアップした取り組みを行い、その内容をソーシャルメディアを通じて発信するとともに、大阪府と連携し、集客施設やイベント等で情報発信を行い、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。 3 安全・安心で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 「大阪府道路公社維持管理方針」に掲げるライフサイクルコストを考慮した予防保全の考え方に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するとともに、事故・渋滞対策の推進、利用者ニーズ、社会情勢の変化を反映したサービス向上に努める。 										<p>③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的な維持管理業務の着実な実施(防災・料金収受設備点検等) ○計画的な維持管理(箕面有料道路の防災設備更新工事等) ○利用者ニーズを反映したサービス向上及び社会情勢の変化への対応 〔鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率向上〕 	

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R5 ウエイト	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値 〔見込値〕	R6 目標値	R6 ウエイト	中期経営計画 (R4～R6)		R6目標設定の考え方 (数値の概観) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R6 目標値	最終年度 目標値		
① 安全・安心で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数		件	10	0	0	0	0	10	—	—	穴ぼこ、路上障害物、雪氷、安全施設不備等の管理瑕疵に起因する事故発生防止のため、365日24時間の交通管理パトロールに加え、公社職員による施設・設備の点検の実施により、事故発生ゼロを目標とする。	お客様の通行の安全性向上を第一に考え、パトロール実施などにより、絶えず管理瑕疵に起因する事故の発生防止を図る。道路構造物を常に良好な状態に保全し、構造物等施設点検の充実を図る。
② 利用者の利便性増進	鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率		%	10	17.0	25.0	×20.9	25.0	10	—	—	利用者からの感染を不安視する声やETC導入の要望が寄せられ、ネットワーク型ETCを導入したことから、利用者を増加させることで、より一層の整備効果を上げるもの。令和6年度における利用促進効果を図るため、利用率向上を目標値とする。	ネットワーク型ETC導入の周知を図るため、料金所等での広報活動を実施すると共に、現金利用者に対する登録キャンペーン実施等のネットワーク型ETCへの転換を促進する検討を行う。
	利用促進策等の効果的な情報発信		項目	10	7	7	7	7	10	—	—	各路線の知名度や利便性の周知度の向上を図る利用促進策や路線情報の取り組みを行い、昨年度と同等の目標値とする。	路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用促進策や路線情報をInstagramなどのSNSや広報誌などを活用して適切な時期に発信する。 ①ETCX利用促進キャンペーン実施 ②利便性PRチラシ配布 ③Instagram発信(観光協会などの連携) ④貨面市商工会議所と連携したイベント開催 ⑤YouTubeによる情報発信 ⑥Xによる情報発信 ⑦郵便局と連携したイベント開催

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 法人経営の効率化、組織体制の見直し	コスト縮減額		百万円	10	12	15	17	64	10	78	78	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し等によるコスト縮減の取り組みによる縮減見込額を計上(法人職員の人件費にかかるコスト縮減額を除く)	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し等によるコスト縮減の実施を継続。
	職員定数		人	15	22	22	22	21	15	20	20	R3年度職員定数である25人に対し、4人の職員定数削減を設定年度を通じて職員定数が目標値を超えない場合に達成とする	中期経営計画策定時において考慮していなかった貨面有料道路の設備の故障による緊急発注などの業務が新たに生じたことにより、R6年度内は1人を削減することを目標とし、R7以降の更なる職員定数削減と人件費削減に向けて取り組む。

【凡例】

- ☆はR6年度からの新規項目
- ×は目標値未達成
- ↓は前年度実績比マイナスの目標値
- 〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

法人名

大阪府道路公社

C S 調査の実施概要

○令和5年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	箕面有料道路	825人	令和5年11月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>【箕面（令和5年度実施）】</p> <p>総合的な満足度（R3:普通以上91.9%→R5:普通以上91.9%）</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分に満足：148人（17.9%） やや満足：300人（36.4%） 普通：310人（37.6%） やや不満：57人（6.9%） 非常に不満：10人（1.2%） わからない：0人（0%） <p>利用者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 便利（時間短縮）、走りやすい、中国自動車道混雑時の迂回ルートとして便利 通行料金の減額要望が大半。 	<p>（結果を踏まえ実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国自動車の迂回ルートとしての利便性をSNSや広報紙、イベントでのチラシ配布などでの情報発信を実施 <p>（今後実施予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安全で利用しやすい道路を目指すとともに利便性の情報発信を行う

○令和6年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	鳥飼仁和寺大橋有料道路	800人	令和6年11月

■ 目標値未達成の要因について

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

{ 1 }

成果測定指標	単位	R5年度目標値	R5年度実績値	目標値との差
鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率	%	25.0	20.9	△ 4.1

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	利用頻度の少ない利用者へのメリットが少ない			・回数券廃止の代替措置として、ETCX利用者に対し、通行回数に応じて割引率が上がる「まいど割」を導入しているが、CS調査の結果から利用頻度の少ない利用者の割合が多く、「まいど割」によるメリットが少ないため、現金のまま利用されている方が多いと推測される。						・利用頻度の少ない利用者向けのETCX登録キャンペーン等を検討し、現金車からETCXへの転換を図る。
	関連項目名	-	単位	-	R5当初想定値	-	R5実績値	-	差	
②	ETCXに登録できる法人カードの種類が少ない			鳥飼仁和寺大橋有料道路周辺の利用頻度の多い企業から、ETCXに登録できないとの声も受けており、登録できる法人カードが限られていることも理由として考えられる。						・定期的に会議を開催し、ETCX運営会社に対し、登録できるETCカードの種類を増やすよう求めていく。
	関連項目名	-	単位	-	R5当初想定値	-	R5実績値	-	差	

■ 令和5年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R5年度の実績値(見込値)	R6年度の目標値
利用促進等の効果的な情報発信	項目	7	7

〔2〕

成果測定指標	単位	R5年度の実績値(見込値)	R6年度の目標値
/			

マイナス (現状維持) 目標の考え方	項目数は同数であるが、令和6年度も引き続き利用促進を重点的に取り組むこととし、郵便局や箕面商工会議所等との連携と合わせてSNSを活用した情報発信に努めるなど、より効果的な利用促進策に取り組む。 ■「利用促進策の効果的な情報発信」項目		
	路線	内容	R5実績 R6目標
	鳥飼仁和寺大橋	ETCX利用促進キャンペーン実施	① ①
	箕面	利便性PRチラシ配布	② ②
		Instagram発信 (観光協会などの連携)	③ ③
		箕面市商工会議所と連携したイベント開催	④ ④
	2路線	YouTubeによる情報発信	⑤ ⑤
		Xによる情報発信	⑥ ⑥
		道路公社40周年記念イベント開催	⑦ -
		郵便局と連携したイベント開催	- ⑦
		7項目 7項目	

マイナス (現状維持) 目標の考え方	/		
--------------------------	---	--	--